



須崎工高

進化した須工生の発表

松浦静子 74

多ノ郷婦人会長

（須崎市土崎町）

2月2日、今年も須崎工業高校3年生の課題研究発表会が市民文化会館で開か

声ひろば

れました。婦人会も毎年案内を受け、今回は6人が出席しました。婦人会は年2回の通学路の清掃をはじめ、体育祭などの行事に参加。特に、マラソン大会では、あめ湯やお漬物を提供して、生徒さんに大人気で喜んでもらっています。

会場には近隣の中学生も出席し満員でした。生徒の進行で、校長先生らのあいさつのあと、課題発表。4科の8グループが知識や技術を生かして、試行錯誤しながら物づくりに取り組んだ成果を発表しました。

生徒が自信を持って発表しているから、聞く人の心を打つのでしょう。約3時間の発表の間、中学生も私語を発することもありませんでした。その態度にも感心させられました。

最後にユニバーサルデザイン科女子生徒が、色彩の知識を生かしたドレス製作の取り組みを発表。白、ピンク、青の素晴らしいドレスを作り、自分たちがモデルとなり男子生徒と手を取り合って披露しました。拍手喝采。会場が一瞬明るく和やかになりました。

全てを生徒が仕切り、発表も分かりやすく、年々進化しています。来年はどんな発表が聴けるのかと今から楽しみです。

平成28年2月2日 課題研究発表会開催

地域の皆さんも須崎工高生を
応援してくれています！！